

# OITA BANK

## MiniDisclosure

大分銀行 平成26年3月期 ミニディスクロージャー誌



中津からあげ

### contents

ごあいさつ .....	1
経営方針「中期経営計画2014」の概要 .....	2
大分銀行のネーミングライツパートナーシップ事業 .....	3
ぶらり大分街歩き<MINI>「中津」 .....	5
業績ハイライト(決算のご報告と業績予想) .....	7
大分銀行のネットワーク .....	9
株主の皆さまへ .....	10
黒田官兵衛孝高の生涯 .....	裏表紙

第208期 営業のご報告  
(平成25年4月1日～平成26年3月31日)



地域をみつめ 未来をみつめ

大分銀行

# 感動を、シェアしたい。

## ごあいさつ

皆さま方には、平素より大分銀行をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

弊行が明治26年の創立以来、当地にて地域の金融機関として営業を継続し、確固たる基盤を築くことができましたのも、ひとえに皆さま方の温かいご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

平成25年度決算につきましては、「中期経営計画2011」の総仕上げとして、諸施策に全行を挙げて取組んだ結果、70億円の黒字計上を果たすことができました。

弊行では、激変する経営環境に的確かつ迅速に対応するため、平成26年4月より「中期経営計画2014」をスタートいたしました。「長期経営計画2011」の第2ステップとして、スピード感をもって施策を展開し、地域との密着度を高めながら収益力強化を目指します。

### 「SPEED & CHALLENGE!」

大分銀行の全役職員は、あふれる情熱でひたすら積極果敢に行動し、目標に向かってチャレンジしていきます。

弊行の経営理念『地域社会の繁栄に貢献するため銀行業務を通じ最善を尽くす』は、「社会における役割・責任・目標、そして共通の価値観」を明示しており、行員一人ひとりがこの使命を銘記し、銀行業務を全力で遂行してまいります。

また、経営理念にうたわれた使命を達成するために、地域の皆さまと一緒に地域社会の発展に寄与するとともに、お客さまに感動していただけるサービスをお届けするという目標に向かって前進してまいります。

今後も、大分県を営業基盤とする地方銀行としての責任を果たすべく、銀行業務を通じた地域への貢献に積極的に取り組んでまいります。

皆さま方には、弊行の取組みに対しまして、なお一層のご理解とご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成26年6月

取締役頭取 姫野 昌治

## 当行プロフィール (平成26年3月31日現在)

本店	大分市府内町3丁目4番1号	従業員数	1,738名
創立	明治26年2月1日		※出向者および嘱託、臨時雇員を含んでおりません。
資本金	195億9,843万2,500円	主要勘定	預金等残高 2兆6,719億円
店舗数	101カ店(本支店・出張所)左記のほか 代理店2ヶ店、香港駐在員事務所、東京事務所		貸出金残高 1兆7,377億円
CD・ATM 設置台数	460台 (うち店舗外169台)		有価証券残高 1兆4,95億円

## 「中期経営計画2014」の体系図

(平成26年4月1日～平成28年3月31日)

【基本テーマ】  
(スローガン)

# SPEED & CHALLENGE!

2年という期間でしっかりと結果を出すため、「スピード」を重視して施策の実践に取組むと共に、全役職員が変革を成し遂げる当事者であるとの自覚を持ち、意識改革、行動改革を行うことによって、「チャレンジ」する風土を醸成します。

【ビジョン】  
(目指す姿)

## 地域の豊かな未来を創るために、 あふれる情熱を持って行動する銀行

経営理念を実現するため、大分銀行は「地域に根差したサービスを実践し、高い価値を生み出す銀行」を目指していきます。そのためには、全役職員が地域の皆さまとの共有価値を創造（「三方よし」を実現）する必要があります。役職員一人ひとりが、「必ず地域を活性化し、豊かな未来を創る」という強い決意を持ち、知恵を振り絞り、あふれる情熱を持って行動することによって、ブランドスローガンである「感動を、シェアしたい。」を実現します。

【基本方針】  
(施策の共通理念)

## 収益力の強化

「収益力」は、「短期的な収益力」だけではなく、「お客さまとの長期的なリレーションの構築」や「地域の面的な活性化」に取り組む中で実現される「持続的な収益力」も含んでいます。

【大前提】

持続的利益

事業の継続

コンプライアンス

● 大分銀行のネーミングライツパートナーシップ事業 ●

# スポーツがつなく未来への扉

大分銀行は、平成22年3月より、スポーツ文化交流の場として大分県のシンボリック的存在となっている大分スポーツ公園総合競技場のネーミングライツ(命名権)を取得し、様々なパートナーシップ事業を通じて、未来につながる地域貢献に取り組んでいます。



施設名称	大分スポーツ公園 総合競技場内の施設	施設の名称
	総合競技場	大分銀行ドーム
	野球場	だいぎんスタジアム
	投てき場	だいぎんフィールド
	サブ競技場	だいぎんグラウンド
	サッカー・ラグビー場	だいぎんサッカー・ラグビー場
	テニスコート	だいぎんテニスコート

青少年の健全育成

経済発展への寄与

地域コミュニティ  
の醸成

国際友好・親善  
への貢献

協賛イベント

大分県障がい者スポーツ大会

平成25年5月26日

協賛イベント

大分県スポーツ少年団駅伝交流大会

平成26年2月11日

だいぎんカップ2013大分トリニータサッカー交流会

第1回交流会 平成25年11月24日  
第2回交流会 平成25年12月8日  
第3回交流会 平成26年1月26日  
第4回交流会及び表彰式 平成26年2月23日

大分銀行創立120周年記念

だいぎんスペシャルサクスデー

平成25年10月5日  
(J1第28節 大分トリニータ VS セレッソ大阪)

だいぎんサッカー教室

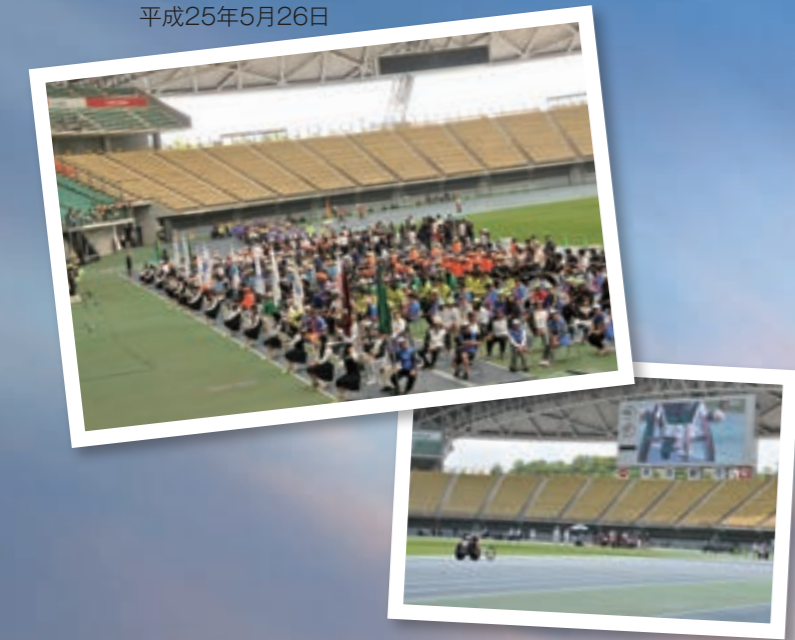
第1回 平成25年10月5日in大分市  
第2回 平成25年11月10日in九重町  
第3回 平成26年3月23日in豊後高田市

「大分トリニータ後援会大分銀行支部」設立

平成25年5月26日

● 大分銀行ドーム花壇への植樹

第1回 平成25年6月1日  
第2回 平成25年12月8日



# 中津

NAKATSU

中津市は、大分県の北西端に位置し、山国川を挟んで福岡県と隣接しており、大分市・別府市に次いで人口が3番目に多い中核都市です。また、2014年大河ドラマ「軍師官兵衛」ゆかりの地として注目を集めています。中津市内には、黒田官兵衛が築城した中津城をはじめ、中津城の石垣や戦場の城跡、城下町や寺院・神社など、黒田官兵衛が活躍した足跡が今も残っております。一方で、福澤諭吉をはじめ多くの偉人を輩出した都市でもあります。先見性と行動力で時代を切り拓き、日本を先導した偉人達は中津の誇りです。

今回は、歴史と文化を感じる城下町「中津」についてご紹介いたします。

取材協力:中津市役所・中津耶馬溪観光協会

## 1 福澤諭吉旧居・記念館

天保5(1835)年に大阪の中津藩蔵屋敷で生まれた福澤諭吉は、1歳6か月のとき父の死去により帰藩し、長崎に遊学するまでの幼少青年期を(19歳まで)この家で過ごしました。自ら改造し勉学に励んだ土蔵も当時のまま残されており、日本の近代化・民主主義を先導した福澤諭吉の人生の原点を垣間見ることができます。隣接する記念館は、平成23年にリニューアルされ「学問のすゝめ」の初版本や書・手紙・写真のほか、1万円札の1号券など福澤諭吉に関連するものがたくさん展示されております。



見どころマップ



## 中津市民のソウルフード “中津からあげ”

中津市内にはからあげ専門店が多数点在し、地域の行事や食卓には欠かせない地元の味、ソウルフードとなっています。塩や醤油をベースにニンニク、ショウガなど10種類以上の調味料を使ったタレでしっかりと下味をつけ、注文を受けてから揚げたてを提供するのも「中津からあげ」の特徴です。骨付き・骨なし・むね・もも・手羽先など、様々な種類の組み合わせが楽しめます。

「からあげの聖地 大分県中津市」の「中津からあげ」をぜひお試しください!

## 2 西蓮寺 天正16(1588)年

光心師によって開基・開山。俗名 黒田市右衛門門であり、黒田官兵衛の末弟です。父・黒田美濃守職隆の逝去時に出家し、兄・黒田官兵衛を慕い中津に入り、西蓮寺を建立しました。



## 3 円応寺 天正15(1587)年

黒田官兵衛によって開基、真誉見道上人の開山。黒田、細川、小笠原と各藩主に大切にされたお寺です。通称、「河童寺」とも呼ばれ河童伝説が残されています。



## 4 合元寺 天正15(1587)年

空誉上人によって開山・開基。通称、「赤壁寺」。天正17(1589)年4月、黒田官兵衛は宇都宮鎮房を中津城内で討ち、合元寺にいた家臣らを急襲。以来、門前の白壁は幾度塗り替えても血痕が消えないので、遂に赤色に塗られるようになったとの伝説があります。



## 5 中津耶馬溪観光案内所

●TEL/FAX 0979-23-4511 ●営業時間 9:00~17:00 ●休業日 12月29日~1月3日  
案内所では、観光用レンタサイクルの貸出し(雨天時を除く)や、ボランティアガイドの申込み受付を行っています。



## 6 中津城(奥平家歴史資料館)

黒田、細川、小笠原、奥平氏とつづく居城跡。黒田官兵衛が豊臣秀吉より豊前6郡を拝領し、高瀬川(現中津川)河口の地に築城したのが始まりです。堀に海水を引いた中津城は、日本三大水城のひとつです。現在の天守閣は、昭和39年に建築されたもので甲冑や古文書など奥平家に関する歴史資料が展示されています。



## 7 黒田石垣

本丸北側には、石垣にy状の目地が通る場所があります。川沿いの四角く加工された石が黒田の石垣、その上にのる自然石が細川時代の石垣です。本来、自然石の石垣のはずですが、黒田官兵衛は中津城築城の際、川上にある福岡県上毛町の7世紀の遺跡「唐原山城」の石を持ち出し石垣を築きました。「早く効果的に」が黒田官兵衛の知恵の見せどころです。



1 福澤諭吉旧居・記念館

2 西蓮寺

3 円応寺(河童寺)

4 合元寺(赤壁寺)

大分銀行福沢通支店

中津耶馬溪観光案内所(中津駅構内) 5

中津駅

## 大分銀行福沢通支店

窓口営業時間 平日 9:00~15:00  
定休日 土・日・祝  
ATM営業時間 平日 8:45~18:00  
土曜日 8:45~17:00  
日・祝 9:00~17:00



### 平成25年度決算のご報告

平成25年度の経常収益は、有価証券利息や手数料収入の増加、さらに貸倒引当金戻入益の計上により、前年度比21億72百万円増加し、497億38百万円となりました。

経常利益は、経常収益の増加および経常費用の減少により、前年度比48億27百万円増加し、135億81百万円となりました。

当期純利益は、経常利益の増加により、前年度比15億59百万円増加し、70億12百万円となりました。



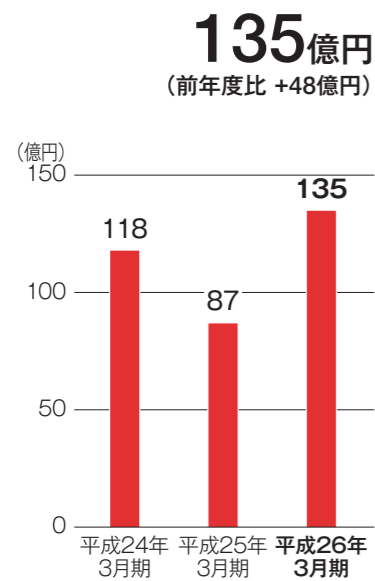
### 平成26年度の業績予想

平成26年度の業績につきましては、経常収益470億円、経常利益67億円、当期純利益40億円を予想しております。なお、平成27年3月末の日経平均株価を14,000円~18,000円、与信費用(一般貸倒引当金繰入額+不良債権処理額)を年間30億円と見込んでおります。

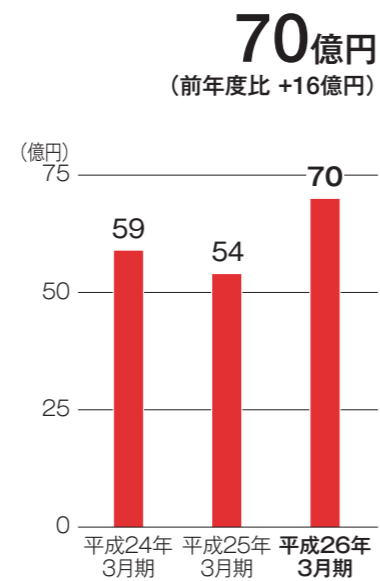
業績予想については、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

#### 主要な指標の推移

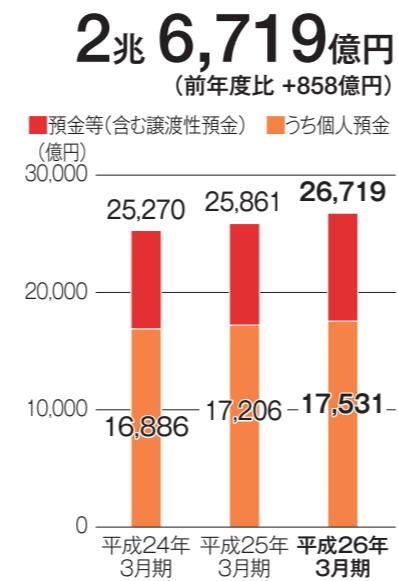
##### ■ 経常利益



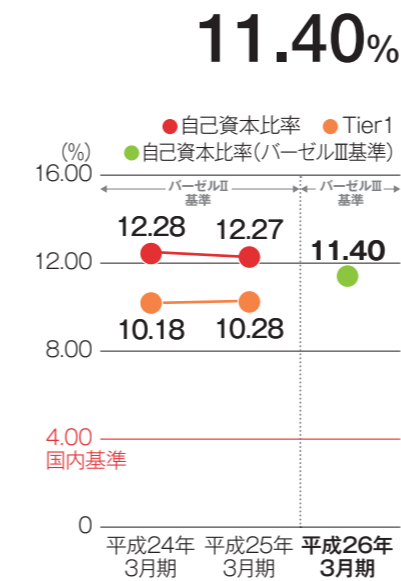
##### ■ 当期純利益



##### ■ 預金等



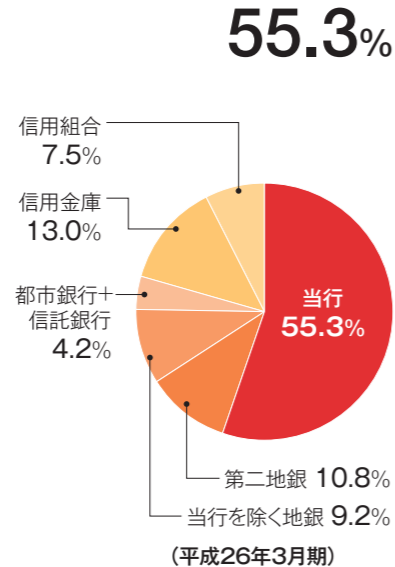
##### ■ 自己資本比率



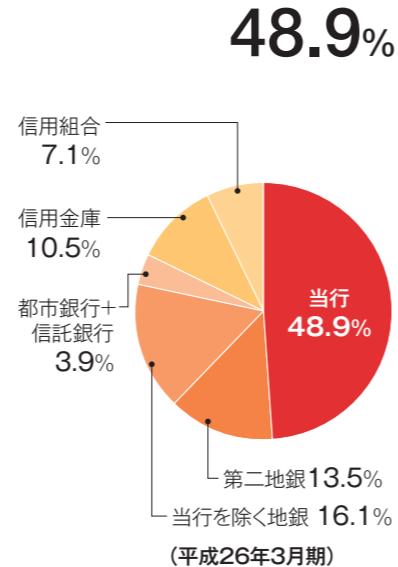
##### ■ 貸出金



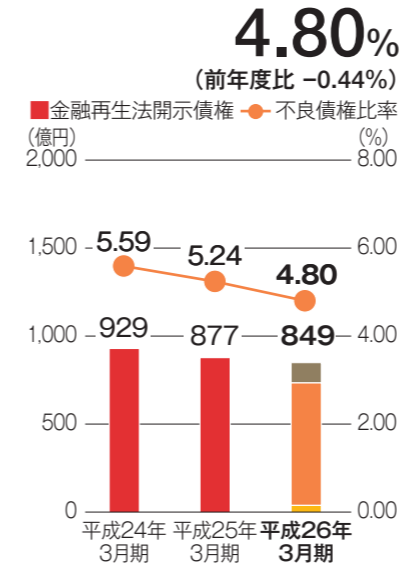
##### ■ 大分県内の預金シェア



##### ■ 大分県内の貸出金シェア

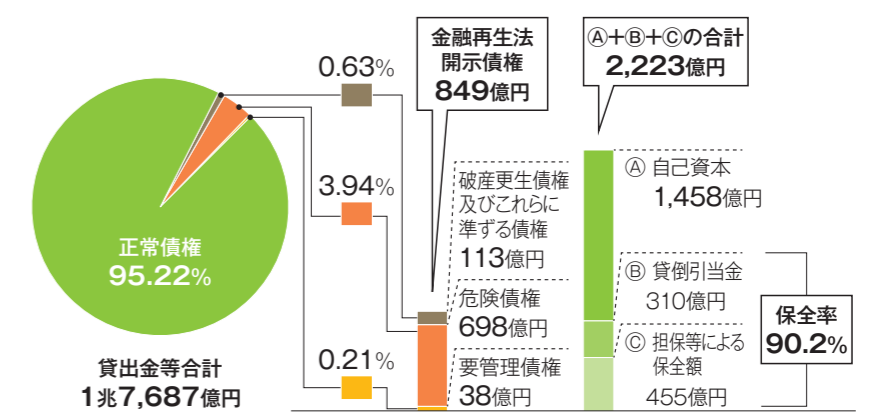


##### ■ 不良債権比率



##### ■ 金融再生法開示債権の保全状況

平成26年3月末の金融再生法に基づく開示債権額849億円のうち、担保等による保全および貸倒引当金による保全率は90.2%となっており、引当されていない部分についても自己資本により十分カバーされています。



#### ■ 用語解説

**金融再生法開示債権** 金融再生法に基づき、貸出金等(貸出金・支払承諾見返・外国為替・仮払金・未収利息)を対象とし債権者単位で区分しております。  
**破産更生債権及びこれらに準ずる債権** 破産等により経営破綻した融資先への債権及びこれらに準ずる債権をいいます。

**危険債権** 経営は破綻していないが経営悪化等により、今後経営破綻となる可能性の高い債権をいいます。  
**要管理債権** 3カ月以上延滞している貸出金と融資先の経営再建又は支援を図るために金利減免や元金返済猶予等を実施した貸出金の合計をいいます。(要管理債権は個別貸出金単位)  
**正常債権** 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」「危険債権」及び「要管理債権」以外の債権をいいます。





# 黒田官兵衛孝高よしたかの生涯

※赤字は豊前国・中津での出来事

天文15年  
(1546)  
播磨国姫路に、小寺氏の家老黒田職隆(もとたか)の嫡男として生まれる。

永禄10年  
(1567)  
家督を継ぎ、姫路城代となる。

天正3年  
(1575)  
織田信長に謁見。秀吉の配下に入る。

天正5年  
(1577)  
中国地方征伐のため姫路城を秀吉に差し出す。

天正6年  
(1578)  
荒木村重(むらしげ)が信長に離反。説得のため有岡城に向かうも捕縛され幽閉。翌年救出される。

天正9年  
(1581)  
鳥取城攻め。兵糧攻めを行う。

天正10年  
(1582)  
備中高松城攻め。水攻めを行う。本能寺の変。中国大返し。山崎の戦い。

天正11年  
(1583)  
大坂城築城に際し、普請奉行となる。キリスト教の洗礼を受ける(洗礼名ドンシメオン)。

天正13年  
(1585)  
四国征伐。

天正14年  
(1586)  
九州征伐の先鋒を務め、豊前国に侵攻。

天正15年  
(1587)  
7月、豊前6郡を拝領。入国し領内の検地を始める。  
10月、宇都宮鎮房(しげふさ)を中心に豊前の国人が蜂起。  
11月、下毛郡長岩城にて野仲鎮兼(しげかね)が蜂起。  
12月、下毛の諸城を攻め落とし、揆鎮庄。

天正16年  
(1588)  
正月、中津城築城開始。  
4月、城内にて宇都宮鎮房を、合元寺(赤壁寺)にて鎮房の兵300人を討つ。

天正17年  
(1589)  
家督を嫡男長政に譲り、如水(じすい)と号す。

天正18年  
(1590)  
小田原城攻め。

天正19年  
(1591)  
肥前名護屋城の縄張りを命じられる。

文禄元年  
(1592)  
文禄の役。宇喜多秀家(うきたひでえ)の軍監として朝鮮に渡る。

慶長2年  
(1597)  
慶長の役。小早川秀秋の軍監として参加。

慶長4年  
(1599)  
中津城下にイエズス会のレジデンシヤ(教会)を建設。

慶長5年  
(1600)  
9月、関ヶ原の戦い。九州では石垣原の戦いが起こる。  
官兵衛軍は中津より出陣、石垣原(別府市)にて大友軍を撃破。長政の筑前52万石移封に伴い、福岡に移る。

慶長9年  
(1604)  
京都にて逝去(享年59歳)。葬儀は博多の教会で行われる。墓は博多の崇福寺(黒田家菩提寺)、京都の大徳寺龍光院にある。



地域をみつめ 未来をみつめ

## 大分銀行

編集発行/平成26年6月 株式会社 大分銀行 総合企画部広報グループ  
〒870-0021 大分市府内町3丁目4番1号 TEL. 097-534-1111  
ホームページアドレス <http://www.oitabank.co.jp/>

チャレンジ  
25  
未来が変わる。日本が変わる。